



▲講演を行う栗木氏

## 五足の靴一行に思いをはせて！

五足の靴顕彰全国短歌大会

11月3日、「第27回五足の靴顕彰全国短歌大会」が天草町民センターで開催されました。同大会実行委員会が、与謝野鉄幹ら五人の詩人「五足の靴」一行が天草を訪れたことを記念し毎年実施しているもの。現代歌人協会理事の栗木京子氏による基調講演が行われたほか、短歌会では、県内外から応募があった1,880首の中から、栗木氏ら5人の選者による入賞歌の発表・選評があり、グランプリの『五足の靴大賞』に、一般の部・仁田直美さん（天草町）、高校生の部・池崎真央さん（牛深高校）、中学生の部・黒川賢斗さん（本渡東中学校）の短歌が選ばれました。

また、翌4日には、「かるた大会」を初めて開催。下田北小学校の児童など63人が参加し、白熱した戦いを繰り広げました。なお、同かるたは販売しており、購入方法などの詳細は、同大会実行委員会事務局（本庁〔別館〕・文化課内）☎231111内線2531へお尋ねください。

▶白熱したかるた大会のようす



## 伝統的な海の交通を知ろう！

伝馬舟体験

10月25日、御所浦町牧島で御所浦小学校の4年生21人が、御所浦に伝わる伝馬舟のろこぎを体験しました。同校が、御所浦の海の交通の歴史や、そこに込められた人々の思いを知ることなどを目的に実施したものです。

子どもたちは、伝馬舟の歴史を学んだ後、実際にろこぎを体験。始めは難しそうにこいでいましたが、しだいに上達し、最後は楽しそうに海を行き来していました。



▲楽しそうにろこぎ児童

## 共同生活から学ぶ助け合い

新和小学校通学合宿

10月23日から同27日まで、新和みどりの村で「通学合宿」が行われ、新和小学校の4年生から6年生35人が参加しました。宮南半島ツーリズム推進協議会が、自立心の向上や協調性の大切さを学ぶことを目的に実施しているもので、今年で5回目。参加した児童たちは、同村に寝泊りをして通学したほか、お風呂を沸かしたり、いっしょに食事を作ったりするなどの共同生活を体験。助け合う気持ちの大切さを学んでいました。



▲夕食を作る子どもたち

## 潮のにおいを感じながら！

牛深ワンわんウォーキング

11月11日、「牛深ワンわんウォーキング」が開催され、県内外から約900人が参加しました。牛深商工会議所が、牛深の自然やまち並みを楽しんでもらおうと毎年実施しているもので、今回は11回目の記念大会。

参加者は、うしぶか海彩館をスタート・ゴールとする5・8・13kmのコースを思いおもいのペースで歩きました。それぞれのコースに設けられたチェックポイントでは、牛深産の“ちくわ”や“いりご”、“みかん”などが配られ、ゴール後には、地元の食材を使ったアオサ丼やイカカツカレーがふるまわれました。参加者は「海からの風が気持ちよかった」と話していました。



▲チェックポイントで「あかねちゃん」(右)からちくわを受け取る参加者

## 山里に響く子どもたちの歌声

福連木子守唄&童謡まつり'12 in 天草

11月11日、福連木小学校を主会場に「福連木子守唄&童謡まつり'12 in 天草」が開催され、家族連れなど約1,500人が来場しました。同まつり実行委員会が、子守唄の保存・継承と地域振興を目的に毎年開催しているもので、今年で18回目。ステージでは、町内外の保育園児による童謡・踊りの発表のほか、DOYO組のミニコンサート、平成音楽大学の学生や福連木小学校の児童による『福連木の子守唄』が披露されました。また、物産コーナーでは特産品の販売やバザーの出店もあり、会場は大いににぎわっていました。



▲子守唄を披露する福連木小学校の児童たち

## 倉岳の魅力再発見！！

モニターツアー

倉岳まちづくり協議会では、倉岳の“食”“景観”“人”に触れてもらおうと10月20日から同22日までの2泊3日で、「天草・倉岳の旅」と題したモニターツアーを実施しました。

ツアーは農林水産省の交付金事業で実施し、神奈川県や福岡市などから23人が参加。シモン芋掘り体験や宮田秋祭り見学などを行ったほか、えびす茶屋などで地魚やシモン料理などの試食を行いました。参加者は「快適な旅でした」と笑顔で話していました。



▲ずらりと並んだシモン料理などをとる参加者